



# 西覚寺だより

第25号

## 春季彼岸会のご案内

日にち 三月十六日(土)

時間 午後一時半 ～ 三時半頃

内容 ・お勤め(正信偈六首引き)  
・ご法話

※春季彼岸会は、午前の座はありません。  
午後のみです。ご注意ください。

なお、「お斎」もありません。

● 布教使 梅山 暁 師(三重県・若手)

今年も昨年に引き続き、三重県の  
梅山先生に、『節談説教』をして頂き  
ます。貴重なご縁ですので、どうぞ皆様、  
お参りに来てください。

● 持ち物 お念珠、門徒式章(お持ちの方)、  
御仏前(受付にお渡し下さい)

マスクについては各自のご判断におまかせ  
します。ただ、当日は本堂もまだ冷えると思  
うのでストーブを焚きます。その関係で  
換気は致しません。予めご承知おき下さい。

## お仏事における、各業者さんについて

みなさまが関わるお仏事の業者さんというと、代表的なところだと、葬儀社さん、墓石屋さん、仏壇屋さん、といったところだと思えます。その兼ね合いの中で、たまに「住職が言っていることと、業者さんが言っていることが違う」など、お困りになったこともあるかと思いますが。

そこで、一言ご説明をさせていただきます。各業者さんはその道のプロであるのと同様に、私は浄土真宗という宗教のプロです。お葬儀という儀式、お墓という場所、お仏壇の役割やお世話を、浄土真宗の教えに則って執り行うプロ、それが僧侶です。各業者さんはもちろんその道のプロではありますが、浄土真宗のプロではありません。そこはぜひご留意頂ければと思います。

例えるなら、各業者さんは食材のプロで、僧侶が料理人です。葬儀社さんが肉店、墓石屋さんが魚店、仏壇屋さんが青果店であり、浄土真宗の僧侶(つまり私)がフレンチのシェフです。肉店さんは、お肉のプロなので素晴らしいのお肉を提供しますし、今までの経験上でフレンチにはこのお肉が合うだろう、ということは知っていますが、実際にフランス料理を作ることはできません。魚店さんも、青果店さんも、もちろん同様で、今までの慣習的なにとなく知っていても、実際に料理をすることはできません。各お店から仕入れた(提供された)食材を、ちゃんとしたフランス料理に仕上げるのは、その道の料理人です。

料理もフランス料理だけではありません。イタリア料理、中華料理、日本料理など様々です。その料理その料理にプロがいて、同じ食材でも、その料理人の専門によって、まったく違った装いになっていくのです。それは浄土真宗だけではなく、宗派が色々あるのと同じように。

加えて、料理のプロは、顧客の好みや状況も把握し、それをふまえて料理されることでしょう。

儀式、お墓、お仏壇といった素材を、みなさまの状況に合わせて、そして浄土真宗の教えに則った形に整えられるのが、僧侶であり、つまりそれが私の仕事なのです。

色々なお寺様に  
ご法話のご縁を頂きました。

一月十七日、広島県の同じ宗派の明福寺さま、親鸞聖人御祥月法座にて布教使としてご法話をさせて頂くご縁を頂戴しました。

皆様ご存知くださっているかわかりませんが、一応、西覚寺住職の三井も、本願寺派布教使という資格を頂いていますので、他のお寺さまがよんでくださった折には、こうして出向き、そのお寺のご門徒様の前で、ご法話をさせて頂いております。ほかのお寺さまに尊いご縁を頂き、布教使の身としてもお育て頂いています。ありがたいことです。南無阿弥陀仏



広島県 明福寺さま

昨年一年を通して、遠いところは神奈川県、近隣は三重県や岡崎市、西尾市、豊橋市など、併せて10ヶ寺以上のお寺様にご縁を頂きました。

いまは、「若手の布教使を育てる」という意味合いを込めて、私をよんでくださった御寺院が大半だと思っています。そうやってお育て下さっているうちに、しっかりと学ばせて頂きながら、若手布教使ではなくなったあとも、さまざまにご縁を頂けるようになります。ければと思っています。

仏さまのことを人にお伝えすることは大変難しいことと痛感しつつも、色々な方に阿弥陀さまのことをお話できること、私が「ありがたいな」と感じていること、私が受け止めている親鸞聖人のお言葉をお伝えできる場を与えて頂いているということが、とても嬉しく、尊い時間だと感じています。



## 定例法座（連続法話会）



| 開催日        | 時間        | 内容        | 講師         |
|------------|-----------|-----------|------------|
| ・4月7日（日）   | 午後二時～午後三時 | お勤め       | 内田正祥師（三重県） |
| ・6月9日（日）   |           | 「らいはいのうた」 |            |
| ・8月17日（土）  |           | その後、法話    |            |
| ・10月14日（祝） |           |           |            |
| ・12月22日（日） |           |           |            |

## テーマ

『浄土真宗ってなあに？』

前回のお話は、阿弥陀さまの「お慈悲」についてのお話でした。内田先生は、いつも難しい仏教のお話ではなく、ご自身の体験をもとに阿弥陀さまのお心をお話くださいます。聞く手の「共感」を大切にお話して下さい、とても聞きやすい時間だなと感じています。皆様と一緒に、改めて浄土真宗のこと、イチから聞かせて頂きましょう。

## 持ち物

お念珠、  
門徒式章

（お持ちの方）  
マスクについては、  
各自のご判断で。

## ◆ 住職の一言コーナー ◆

みなさま、改めまして、  
本年2024年も、どうぞよろしく  
お願い致します。

さて、最近、生活の中で感じた  
ことです。うちの娘は、たまに私  
たち親との「お約束」を守りませ  
ん。その都度、自分が小さかった  
ころと重ね合わせて懐かしんだり  
もします。

結局、娘としては「安心」があ  
るから、「お約束」を反故にでき  
るのだと思います。私たちが親だ  
から、どんなにわがままを言っ  
ても、最終的には許してくれる、決  
して手放したりはしない、という  
安心なのでしょう。

でも、成長していく過程の中で、  
「約束を破る」ということの重大  
さに気が付いていくのかもしれま  
せん。約束を守らないということ  
は、信用を手放し、好感を失う行  
為であるということ。なぜなら、  
私たち親に期待するような「安  
心」は、社会の中にはそう簡単に  
は転がっていないのですから。  
「安心」に身を委ねられること  
は尊いことです。そこに胡坐をか  
き、わが身を省みないことは違  
うなど、改めて感じた茲許です。



浄土真宗本願寺派  
西覚寺

安城市朝日町12・8

☎ 0566・76・3594

<http://saikakuji.sakura.ne.jp/wp/>